

子ども・子育て支援事業計画 進捗状況確認表【平成30年度点検・評価】【令和元年度計画】

資料1

[H30評価欄] 達成度 (A)80～100% (B)60～79% (C)20～59% (D)0～19% (E)事業完了・終了

1 子どもが笑顔で育つまち - (1)子どもの成長を支える教育・保育の提供 - ②子育て支援事業の充実

番号	事業名	事業内容	担当課	H30評価	H30実績	H30成果と課題	R01計画
14	休日保育事業	就業形態の多様化に対応するため、休日保育の実施を検討する。	子育て支援課	D	実施無し	休日保育の要望は全く無いわけではないが、現時点ではすみずみ子育てサポート事業の一時預かり等での対応としている。	当面はすみずみ子育てサポート事業での対応とするが、今後、休日保育のニーズが高まるようであれば検討していく。

1 子どもが笑顔で育つまち - (1)子どもの成長を支える教育・保育の提供 - ③就学後の教育・保育の充実

番号	事業名	事業内容	担当課	H30評価	H30実績	H30成果と課題	R01計画
28	「放課後子ども総合プラン」の推進	国の「放課後子ども総合プラン」の推進に伴い、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な提供について検討を進める。	子育て支援課	C	12クラブが放課後子ども教室に参加した。	今回、前年度の5カ所のクラブの連携開催から12カ所となった。しかし、半数以上のクラブと連携が出来ていない。	今後も担当者間で協議しながら、連携開催を増やしていきたい。
			生涯学習スポーツ課	B	児童クラブと連携した教室を実施したのは、12ヶ所。うち1ヶ所は児童クラブと同一敷地内で一体的に運営しており、5ヶ所はコミュニティセンターで、残りの6ヶ所が児童クラブに出張して子ども教室を実施している。	連携を促進するために、児童クラブ、子ども教室それぞれに、担当課から呼びかけをした。	30度は各地区1教室以上実施したので、担当者間でノウハウを共有し、連携教室を増やしたい。

2 家庭が笑顔で育つまち - (3)特別な支援を必要とする家庭への対応体制の整備 - ①専門的支援の充実

番号	事業名	事業内容	担当課	H30評価	H30実績	H30成果と課題	R01計画
134	医療的ケア児の支援に向けた連携体制の構築	医療的ケア児とその家族を地域で支えられるようにするため、保健、医療、福祉、教育等の医療的ケア児支援に関わる行政機関や事業所等の担当者が一堂に会し、地域の課題や対応策について継続的に意見交換や情報共有を図る協議の場を設け、連携体制の構築を図る。	社会福祉課	B	坂井地区障害児者総合支援協議会の児童部会の中で、共有し意見交換した。	医療的ケア児の支援に向けたニーズ調査・ニーズの把握が課題である。	児童部会と連携しながら連携体制の構築に向けて推進していく
			子育て支援課	B	協議会の開催 1回	重度心身障害児部会にて、医療的ケア児の支援に向けた協議を行った。	行政機関や事業所等と医療的ケア児の支援に向けた協議を行っていく。
			健康増進課	D	医療的ケア児との関わりはほとんどなかった。	関係機関と連携し医療的ケア児の実情を把握し、支援方法について関係機関と連携していく事が必要。	関係機関との話し合いの場がもてるよう検討する。
			学校教育課	C	住んでいる学校に通学を希望する医療的ケアが必要な児童・生徒がいなかったことから、協議することがなかった。	医療的ケアが必要な児童・生徒がいる場合には、病院内にある学校において、治療をしながら学習をしている。	住んでいる学校に通学を希望する医療的ケアが必要な児童・生徒を想定した、話し合いの場を持てるよう、検討する。

子ども・子育て支援事業計画 進捗状況確認表【平成30年度点検・評価】【令和元年度計画】

資料1

[H30評価欄] 達成度 (A)80～100% (B)60～79% (C)20～59% (D)0～19% (E)事業完了・終了

3 地域が笑顔で育つまち - (1)安心・安全のまちづくり - ①施設等の環境整備

番号	事業名	事業内容	担当課	H30評価	H30実績	H30成果と課題	R01計画
107	児童館活動事業	子どもたちが安全かつ安心して活動できるよう、施設環境の整備に努める。現在児童館で実施している放課後児童クラブを閉園となった幼稚園舎へ移動することにより、児童館機能の充実を図る。	子育て支援課	C	【公営14施設(うち2施設は児童室)】利用者数 52,298人 春江児童館が廃止となり、H31年度から江留上コミュニティセンター内に児童室として開設するため、H30は春江保健センター内で開設したと思われる。その他は、大きな事件・事故等もなく、来館児童を受け入れることができた。	春江児童館が廃止となり、H31年度から江留上コミュニティセンター内に児童室として開設するため、H30は春江保健センター内で開設したと思われる。その他は、大きな事件・事故等もなく、来館児童を受け入れることができた。	老朽化が激しい児童館及び同施設で開設している児童クラブについて、近隣の他施設や小学校の空き教室等へ移転することを検討していく必要がある。

3 地域が笑顔で育つまち - (1)安心・安全のまちづくり - ②犯罪や事故等の防止・啓発

番号	事業名	事業内容	担当課	H30評価	H30実績	H30成果と課題	R01計画
117	安全安心まちづくり事業	市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりに関する施策を実施する。また、有効な施策の実践については、各機関どうしの連携が不可欠であるため、安全安心まちづくり推進会議を開催し、安全安心まちづくりに関する施策について協議する。	安全対策課	C	近年、刑法犯認知件数が減少していることから、「安全安心まちづくり推進会議」については未開催。坂井市役所のホームページにおいて、交通事故・犯罪の発生状況を掲載している。	警察から防犯カメラの設置要望を受け、当初予算で予算を獲得した。設置場所については、監視カメラとのそりを受けないため、設置の必要性等十分に吟味する必要がある。	女性、子供の安全・安心を確保する為、警察と協議の上、坂井市内に防犯カメラを設置することとした。(30台を予定)設置場所については、検討中。
120	交通指導員の配置	交通指導員を配置し、早朝・薄暮時の街頭指導・巡回広報パトロールを実施することにより、子どもを含めた住民の交通事故防止を図る。指導員の高齢化が課題であるとともに、定年制を設けたことにより、指導員の減員が予想されているが、今後も地域ぐるみの安全活動を推進するため、適正な指導員の確保に努める。	安全対策課	C	交通指導員は42名(-1名)となっている。毎月1日、16日は、早朝・薄暮時における街頭啓発活動、巡回広報パトロールを実施し、子供・高齢者に交通事故抑止を呼びかけている。また、各種イベントなどでの交通整理・交通指導を実施し、事故防止に努めた。	左記に記載のとおり、月2回早朝・薄暮時に街頭啓発活動を実施しており、高齢者・通学路の交通事故抑止に努めた。近年、指導員数が減少傾向にあり、積極的な募集業務を推進する悲痛代がある。	昨年同様、警察と連携し街頭啓発活動を実施。特に、夜間・薄暮時間帯や通学路における街頭監視活動を実施し、子供や高齢者が被害となる交通事故抑止を呼びかける。
121	防犯パトロールの実施	犯罪を未然に防ぐため、市内の拠点を中心に防犯パトロールを実施する。	安全対策課	C	防犯隊が中心となり市内の危険箇所等への立ち寄りを実施。子供が被害となる犯罪を防止するため、公園等を重点としたパトロールを実施。その際、夕方子供を見かけた場合、早めの帰宅を促した。	防犯パトロールを実施した結果、市内において、子供が被害となる犯罪の発生はなかった。警察と連携を取り、重点地域・パトロールの時間帯等について検討する必要がある。	災害危険箇所(河川・用水)、過去の被害発生場所、発生の危険性がある地点等に対する防犯パトロールを実施。
122	不審者対策	保育所(園)・幼稚園・学校等において防犯訓練を実施し不測の事態に備える。また職員を対象に講習会を開催し、予防や防護策を学ぶ。	子育て支援課	A	警察に協力依頼し、防犯教室および不審者対応訓練の実施。(全園1回以上)	警察と連携し防犯教室や不審者対応訓練を行うと共に、園単独でも実施。公立園では緊急通報装置や玄関設置の防犯カメラがない園がある。	防犯訓練等で警察より指摘を受けた点(軽微な修繕等)を改善する。
			学校教育課	C	警察と連携を取り、市内の小・中学校全校(中学校5、小学校19)で不審者対応訓練を実施した。	不審者対応訓練については、小中学校については全校で実施され、警察と連携をとって取り組んできた成果といえる。訓練の内容・形態を工夫して、さまざまなパターンに対応できるよう訓練をしていく必要がある。	引き続き、警察と更なる連携を強化し、園児・児童生徒対象や教職員対象や、さまざまなパターンの不審者対応訓練が設定できるようにしていく。